緊急避難時基本図

●火災報知器と■内線電話の位置を確認しておこう

火災・不審者の発見

大声で異常事態発生を告げ、助けを呼び、近くの●火災報知器（■内線電話）を押す

火災や不審者に近づかないようにその場から避難する
※大声で周囲に「緊急事態」を知らせる

突然、地震が発生

すぐに机の下に入り、両手で机の脚をつかんで身を守る
（身の安全の確保）

揺れが収まったら放送の指示に従って校舎から避難
※大地震の場合は（放送の指示がなくても）揺れが収まったら避難開始

南海トラフ地震臨時情報発表

南海トラフ地震臨時情報発表時

①教室または待機場所で待機
②臨時情報の内容と、今後の対応の指示を確認
③指示に従い、行動する

A　注意しながら通常の活動を行う
B　直ちに帰宅する
C　授業･部活動などを中断し、防災体制を取る
　◎学校に滞在する準備を行う
　（保護者の希望により、引き渡しを開始する）

火災報知器が鳴った！

活動中止！
放送の指示待ち
（緊急放送）
ハンカチ、
防災頭巾の確認

（緊急放送）火災発生！

①防災頭巾、ハンカチを身に付ける
②窓側の生徒は落ち着いて窓を閉める
③教室前の廊下に出て職員の指示で避難する
④「あわてない・押さない・言わない（あ･お･い）」を心がける

（緊急放送）不審者発見！

①放送をよく聞き、不審者がいない方向へ避難する
②身を守る物を持ち、素早く避難する

誤報･間違い

次の行動の指示で動く

・グランドへ集合
・避難本部前に番号順、２列で集合
・点呼開始（学代、副学代は整列指導）

※人数が足りない！
・情報を共有する
・異常は全て職員に報告する
・点呼が終了したクラスは座る

指示が出るまで校舎は立入禁止!!

先生がいない

火災？	・近くに煙などが見えないか確認 ・危険なら、自分の判断で避難を開始 ・周囲にも火事を知らせ、落ち着いて行動
不審者？	・近くに不審者がいないかを確認 ・遠くに見えた場合はすぐに避難 ・近くに逃げられそうもない場合、机や椅子などで防御し大声で叫ぶ、助けを呼ぶ